

フォンテーヌブロー砂岩を用いた溶存成分による透水係数変化の評価

Permeability variation of Fontainebleau sandstones associated with solution composition

中島 崇 [1]; 横山 正 [2]; 廣野 哲朗 [3]; 中嶋 悟 [4]

Takashi Nakajima[1]; Tadashi Yokoyama[2]; Tetsuro Hirono[3]; Satoru Nakashima[4]

[1] 阪大・理・宇宙地球; [2] 阪大・理・宇宙地球; [3] 阪大; [4] 阪大・理・宇宙地球

[1] Earth and Space Science, Osaka Univ.

; [2] Dept. Earth and Space Science, Univ. Osaka; [3] Osaka Univ.; [4] Dept. Earth & Space Sci., Osaka Univ.

地質媒体の透水係数は、地球の表層・内部における火山・地震・資源の集積・環境汚染等を支配する重要な物性値である。また、地球内部には、pH やイオン濃度の異なる様々な流体が存在する。そこで、本研究では、溶液組成が透水性に及ぼす影響に着目し、NaCl 水溶液、Na₂CO₃ 水溶液の透水係数の評価を試みた。その評価には、定水位法の透水試験装置を用いた。さらに、空隙率の影響も考慮し、空隙率の異なる4つのフォンテーヌブロー砂岩における透水試験を実施した。本発表では、これらの予備実験結果を紹介する。